

# 青い空に浮かぶ白い雲<sup>1</sup>

## —教育長の教育経営方針 2012—

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美

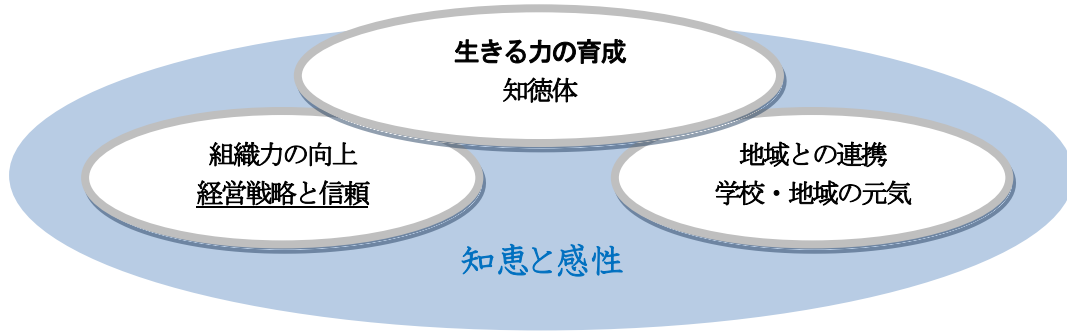
### 東大和市教育委員会の教育目標

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

### 東大和市教育委員会の基本方針

- 基本方針1 「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成
- 基本方針2 「豊かな個性」と「創造力」の伸長
- 基本方針3 「総合的な教育力」と「文化・スポーツ」の充実
- 基本方針4 「市民の教育参加」と「学校経営改革」の推進

## —教育長 教育経営方針 2012—



尾崎保夫市長は、平成23年6月第2回定例会の開会に当たり、市政運営の基本姿勢と所信表明を行いました。その中で教育に関しては、「地域力」と「教育力」の向上を掲げています。

私は、市長が掲げる「市民と行政の協働による『夢のある街づくり』」の中における地域力、教育力の向上に向けて教育経営方針を上記の図のように示します。

### 1 3つの柱

教育に関しては、教育内容、教育方法、教育環境など様々な課題がある中で、大きく3つの柱を立てました。細部にも気を配り地域、学校、関係団体との連携・協力を進め、東大和市の教育の充実に努めます。

- ◆1「生きる力の育成」 ◆2「地域との連携・協力」 ◆3「組織力の向上」

### 2 柱の解説

1つ目の柱「生きる力の育成」は、まず、義務教育9年間を見通し、子どもたち一人一人に確かな学力を身につけさせることともに、地域の学校に通うことに対する「誇り」をもたせ、「知・徳・体、バランスのとれた子どもたちの育成」を進めます。

また、東大和市全体が互いの人権を尊重する中で、教育、スポーツ・文化など、さまざまな取り組みが適正に評価される街づくりを進めます。

2つ目の柱「地域との連携・協力」は、すでに学校と地域は、さまざまな機会において連携・協力した活用した活動を進めています。子どもたちが『次代を担う大切な地域の財産』であることを認識し、学校と地域とが連携・協力して子どもたちを育成していくことが大切です。学校はどこも「地域の熱い思い」により開校に至ったものです。その思いや願いに応えながら、市民と行政の協働による『夢のある街づくり』を進めていきましょう。

3つ目の柱である「組織力の向上」は、信頼を得るために欠くことのできないことです。教育長や校長は経営のトップとして明確に経営方針を示し、それを職員と共有することが基本です。

職員には、職層に応じた役割と責任を自覚させ、各職層を生かした経営戦略を組織的、具体的に展開していきます。